

2024年12月18日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
代 表 者 名 代表取締役 武内 博文
(コード番号：4579)
問 合 せ 先 取締役 須藤 正樹
(TEL. 052-446-6100)

仏Vetbiolix SASによる5-HT₄作動薬のオプション権行使に伴う一時金受領のお知らせ

当社は、Vetbiolix SAS（本社：フランス・ノール県ロース市、創業者兼社長：Matthieu Roquette、以下「Vetbiolix社」）より、5-HT₄作動薬であるRQ-0000010（以下「RQ-10」）につきまして、ペット用医薬品を開発するためのライセンスに係るオプション権を行使する旨の連絡を受けました。これにより当社は、Vetbiolix社からオプション料として一時金を受領することが確定しましたので、以下のとおりお知らせいたします。

2023年4月、当社とVetbiolix社は、当社が創製したRQ-10に関して、犬・猫の腸管運動障害を対象としたペット用医薬品を開発するためのオプションおよびライセンス契約（以下「本契約」）を締結しました。本契約により当社は、Vetbiolix社に対し、RQ-10を含有する動物用医薬品の開発、製造および販売に関する独占的かつ全世界を対象としたサブライセンス可能なライセンスに関する独占的オプションを付与しました。

今回のオプション権の行使により、当社はVetbiolix社からオプション料の支払いを受けるとともに、RQ-10の開発の進捗に応じたマイルストーン、および上市後にVetbiolix社が受領した製品売上高またはライセンス収入に応じた販売ロイヤリティを受け取る権利を取得します。

当社は、本件に伴い一時金を受領し、2024年12月期第4四半期の事業収益として計上します。なお本件による2024年12月期の連結業績への影響につきましては、当社が2024年12月13日に公表した当期連結業績予想に織り込み済みです。

当社およびVetbiolix社は、本契約を通じて、両社の開発パイプラインをさらに強化するとともに、ペットの腸管運動障害に対する新たな治療選択肢を提供することで、ペットおよび飼主のみなさまの生活の改善に貢献してまいります。

詳細につきましては別紙の共同プレスリリースをご覧ください。

以 上

<ご参考>

【5-HT₄受容体および5-HT₄作動薬について】

5-HT₄受容体は、神経伝達物質であるセロトニンに応答するタンパク質であり、脳や消化器系などの様々な組織や臓器に発現しています。消化器系においては、5-HT₄受容体は腸管の運動を促進し、胃および腸の収縮を調節して消化吸収を助けます。5-HT₄作動薬は、平滑筋の収縮を促進するアセチルコリンの放出を刺激することで腸の運動性を高める作用を持ちます。このことから、5-HT₄作動薬は、消化管の筋肉の収縮異常によって特徴付けられ、便秘や腹痛などの症状を伴う各種の腸管運動障害の治療薬として有用とされています。

【RQ-000000010 (RQ-10) について】

RQ-10は、当社が創製した高活性かつ高選択的で経口投与可能な低分子5-HT₄作動薬です。当社はこれまでに様々な非臨床試験および第I相臨床試験を実施しており、有効性と安全性の両面で良好な結果を得ています。

報道関係者各位

Vetbiolix SAS がラクオリア創薬株式会社が創製した 5-HT₄ アゴニストである RQ-10 (VBX-3000) のライセンス・オプション権を行使し、犬・猫の消化管運動障害治療用ペット医薬品を開発

名古屋／ロース 2024 年 12 月 18 日 – ラクオリア創薬株式会社(本社:愛知県名古屋市、代表取締役社長:武内博文、以下「ラクオリア創薬」)と Vetbiolix SAS(本社:フランス・ノール県ロース市、創業者兼社長:Matthieu Roquette、以下「Vetbiolix 社」)との間で 2023 年 4 月 6 日に締結されたオプションおよびライセンス契約(以下「本契約」)の条項に従い、Vetbiolix 社は、ラクオリア創薬が創製した 5-HT₄ 作動薬である RQ-00000010(以下「RQ-10」)について、Vetbiolix 社が犬・猫の消化管運動障害治療用ペット医薬品を開発するためのライセンスに係るオプション権(以下「本オプション権」)を行使することを決定しました。

本オプション権の行使により、Vetbiolix 社は、本契約の定めに基づいてラクオリア創薬にオプション料を支払い、RQ-10 を含有する動物用医薬品の開発、製造、販売に関する独占的、全世界的、サブライセンス可能なライセンスを取得します。Vetbiolix 社は今後の世界的な開発を担当し、ラクオリア創薬は開発の進捗に応じたマイルストーンを受け取ることができます。さらに、RQ-10 を含有するペット用医薬品が上市に成功した場合、Vetbiolix 社はラクオリア創薬に対し、Vetbiolix 社が受領した製品売上高またはライセンス収入に応じた販売ロイヤリティを支払います。

ペット向けの消化管運動障害の医薬品治療薬の市場は、2023 年には 3 億 5000 万ドルと推定され、2031 年には 6 億ドルに成長すると予想されています (Coherent Market Insights)。Vetbiolix 社は、RQ-10 (VBX-3000) がこの市場の最大 15~25%を獲得する可能性があり、2031 年までにピーク時の世界売上高が 1 億 2500 万ドルに達すると予測しています。

5-HT₄ 受容体は細胞膜タンパク質で、神経伝達物質セロトニンによって活性化されます。様々な臓器、特に消化器系に発現しています。消化器レベルでは、5-HT₄ 受容体の活性化は、胃や腸の収縮活動を調節することによって運動を促進し、消化吸収を助けます。メカニズム的には、RQ-10 のようなアゴニストによる 5-HT₄ 受容体の活性化は、別の神経伝達物質であるアセチルコリンの放出を刺激し、胃腸壁の平滑筋収縮を促進します。その結果、RQ-10 のような選択的アゴニストによる 5-HT₄ 受容体の刺激は、犬や猫で頻繁に遭遇するさまざまな消化管運動障害を治療するための有望なアプローチとなります。特に、RQ-10 は犬の胃不全麻痺や猫の慢性便秘のような胃排出遅延を伴う疾患に対する第一選択薬になる可能性があります。

RQ-10 は、高活性かつ高選択的で、経口投与可能な低分子の 5-HT₄ 作動薬です。ラクオリア創薬は、犬を含む様々な動物種で様々な薬理学的試験および耐性試験、ヒトを対象とした第 1 相臨床試験を実施し、犬および猫の運動機能障害の治療における RQ-10 の高い有効性と安全性を確認しています。

ラクオリア創薬代表取締役社長の武内博文は、次のように述べています：「この度、Vetbiolix 社が RQ-10 (VBX-3000) の完全ライセンス取得のオプションを行使することを決定したことを大変嬉しく思います。当社が実施した犬を対象とした非臨床試験において、RQ-10 (VBX-3000) は良好な薬物動態および安全性プロファイルを示し、低用量で効果的に消化管および大腸の運動機能を増強し、既存の治療薬よりも優れた効果を示しました。RQ-10 (VBX-3000) が腸管運動障害に苦しむ犬や猫の生活を大きく改善し、飼い主のみならずとも健康で幸せな生活を送れるようになることを強く望んでいます。」

Vetbiolix 社の創業者兼社長である Matthieu Roquette 氏は次のように述べています：「ペットの消化管疾患におけるアンメット・メディカル・ニーズは極めて重要であり、獣医療界およびペットの飼い主からの要望は劇的に高まっています。RQ-10 (VBX-3000) は、ペット向けの消化管疾患治療薬市場においてゲームチェンジャーとなる可能性を秘めていると確信しています。このことを考慮し、ラクオリア創薬と締結している契約に基づき、動物用 (VBX-3000) の開発および商業化に関する完全ライセンス取得のオプションを行使し、動物用医薬品における (VBX-3000) の Vetbiolix の営業権を確保することを決定しました。Vetbiolix 社は現在、腸管運動障害を有する飼い犬および飼い猫を対象に、RQ-10 (VBX-3000) を 2~3 週間反復経口投与した場合の使用安全性および効果を評価することを目的とした 2 つの非盲検多施設共同概念実証臨床試験 (Proof-of-Concept clinical studies、以下「POC 臨床試験」) を実施しています。"POC 臨床試験の最終的な臨床結果は 2025 年第 2 四半期までに得られ、2026 年までにパイロット薬事承認臨床試験を開始する予定です。」

【Vetbiolix 社について】

Vetbiolix 社は、ペットに影響を与える病気の治療と予防のための革新的な製品を開発しています。Vetbiolix 社は、歯周炎、変形性関節症、腸管運動障害における獣医のアンメット・メディカル・ニーズに応えるファースト・イン・クラスの低分子を、世界中のヒューマン・バイオテック社からインライセンス (独占的かつ全世界的なライセンス) し、独自のパイプラインを構築しています。Vetbiolix 社は、医薬品候補の臨床開発に注力しており、(i) 臨床概念実証試験、(ii) CMC-医薬品開発、(iii) 規制当局によるパイロット臨床試験、(iv) 規制当局によるポータル臨床試験に投資しています。同社の収益源は、動物用医薬品業界との導出および/または共同開発契約となっております。詳細はホームページ <https://www.vetbiolix.com> をご覧ください。

問い合わせ先：matthieu.dubruque@vetbiolix.com

【ラクオリア創薬について】

ラクオリア創薬は、「イノベーションの力で、いのちに陽をもたらす」をミッションに掲げ、未だ治療薬のない疾病に苦しむ患者さんに医薬品を届けることを使命としています。難病に苦しむ人々のもとへ一日でも早く新薬を届けたいという想いを胸に、自社の研究開発に留まらず、アカデミアやスタートアップ、ベンチャー企業等との協力関係を深め、次世代型創薬バリューチェーンの構築を通じて、新薬の研究開発に取り組んでいます。私たちは患者さんを第一に考える創薬研究のプロフェッショナルとして、サイエンスを探究し、挑戦しつづけることで、First-in-class の革新的な治療薬を生み出すことで世界に貢献してまいります。詳細はホームページ <https://www.raqualia.com/ja/index.html> をご覧ください。

問い合わせ先 ask@raqualia.com